

行事／取組名称	平成 28 年度屋久島実習（「エコツーリズム技法」 （「大学コンソーシアム岡山」に加盟の大学学生が対象）		
担当部門・機関	先進科学教育部門・岡山理科大学		
開催日時・期間	平成 28 年 9 月 1 日(木)～ 9 月 6 日(火)	会場	鹿児島県屋久島
主 催	科学トライアングル岡山 岡山理科大学サテライト部門	後 援	
共 催	岡山理科大学科学ボランティアセンター		
概要			
<p>大学コンソーシアム岡山に科目提供している「エコツーリズム技法」の屋久島実習を実施した。1大学の14名が参加し、岡山からの同行教員3名と屋久島の現地講師3名が指導にあたった。屋久島実習の前に、事前講習として、説明・講習会（5/13）、野外キャンプ講習（5/20～5/21）を行った。屋久島実習では、台風12号に直撃されたが、現地講師の臨機応変な対応により、無事に充実した実習を実施することができた。事後講習として報告会（9/25）を公開で開催した。</p>			
参加者			
<p>同行教員 西村直樹：岡山理大・自然フィールドワークセンター教授、波田善夫：岡山理大・特担教授 正木智美：岡山理大・非常勤講師</p> <p>現地講師 松本 毅：岡山理大・非常勤講師（屋久島野外活動総合センター所属） 小原比呂志：岡山理大・非常勤講師（屋久島野外活動総合センター所属） 市川 聡：岡山理大・非常勤講師（屋久島野外活動総合センター所属）</p> <p>参加学生：14名 岡山理科大学1年生10名+2年生2名+3年生1名+M1生1名（男11，女3）</p>			
同行教員			
報告事項			
<p>1. 申込受付：応募者と面談して、屋久島実習の概要説明を行い、本人の履修目的・希望を確認した上で、エコツーリズムコースとフィールドワークコースへの振り分けを行った。 エコツーリズムコース（7名）：読図，スノーケリング，森歩きを通して，屋久島の自然の成り立ちと仕組みを体験的に学ぶとともに，エコツアーの理念の習得を目的にした。 フィールドワークコース（7名）：読図，沢登り，山中泊登山を通して野外活動の技法習得を目的にした。</p> <p>2. 事前講習：下記をおこなった。 説明・講習会（5月13日，10am～3pm，岡山理科大学10学舎） 内容：実習の概要と障害保険の説明，参加者自己紹介，野外炊事用品などの使用法実習。 野外キャンプ講習（5月20-21日，岡山理科大学自然植物園） 内容：野外での宿泊・炊事等に使用する用具を実際に使用する講習を行った。</p> <p>3. 屋久島実習内容 9/1：宿舎に現地集合。夜，「エコツアーの技術」の講義。 9/2：エコツーリズムコース：スノーケリング 基礎技術（一湊海岸）。 フィールドワークコース：沢登り（西部・河原北川）。 9/3：台風12号のため，終日，野外活動できず。室内で：「屋久島の海洋生物とその調査法」の講義。 9/4：台風12号のため，午前中の野外活動は難しく，室内で読図演習，ロープワーク基礎技術，午後，大川滝，千尋滝，湯泊海岸などで地質観察。 9/5：エコツーリズムコース：スノーケリング による魚類観察（一湊海岸）。 フィールドワークコース：植物の垂直分布と中間針葉樹林（ヤクスギランド）観察。 9/6：現地解散。</p>			

4. 事後講習・報告会（9月25日，1:30～3:00pm，岡山理科大学21号館1階講義室）  
実習終了後，パワーポイントを使用したレポート作成の指導を行った。  
報告会では，各学生が「私が企画するエコツアー」の課題で，3～5分のプレゼンテーションを行った。オープンキャンパスの時に公開で開催したので，実習に参加していない学生（数名）や，高校生やその保護者（数組）にも観ていただいた。

平成28年度科学トライアングル岡山 先進科学講義  
— 屋久島実習の記録 —



写真1. 水しぶきをあびながらの集合写真（大川滝）。



写真2. 淀川登山口近くで水質検査。



写真3. 宿舎展望台からの満天の星空。